

第38回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2017年1月11日(水) 16:30より

場所 早稲田大学79号館(STEP22)205号室

演題

マーケティングの観点から見た 2019年ラグビーワールドカップ組み合わせ試案

井上俊也 先生

(大妻女子大学キャリア教育センター 教授)

本講演は2019年に日本で行われるラグビーワールドカップの組み合わせ並びに日程についてマーケティングの観点から試案を提言するものである。

ラグビーワールドカップは他のメガスポーツイベントとは異なる点がある。それは試合日程や試合会場など、実力と人気を併せ持つ有力国中心に運営されてきたことである。これまでに開催実績があるのは有力8か国(ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカ、イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド、フランス)だけであり、これら8か国のファンを重視した大会運営であった。有力国の試合は、競技面では試合間隔がほぼ均等になり、マーケティング的には収容人員の多いスタジアムで、時差を考慮して自国のファンがテレビ観戦しやすい曜日と時間帯に行われてきた。

初めて有力国以外で開催される2019年日本大会において、より広いマーケティング的な観点から、これまでの条件を満たし、開催国として入場料収入だけではなく観光収入も考慮し、さらに国内外のファンにとって利便性のある組み合わせの試案を提案する。



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・霜島広樹
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: h-simozima@aoni.waseda.jp